

おぐわ

● 広報



— 豊穰への感謝の舞い —

9月8日の夜。白子神社の秋祭り。邪気を払うように集落内を舞い踊りながら練り歩く獅子。その獅子の歩みを導く警固。1年に一夜だけの舞いを楽しみたい獅子とこれを鎮める警固の力くらべ。豊穰への感謝の舞いは今年も熱かった。

2018

10

No.768



小さな町の大きなチャレンジ 「みんなで稼ぐ」地域総合商社とは

本町が有する豊かな自然、生活文化、多様な人材が生みだす農林水産物や伝統文化、町内企業の生産品や教育、子育て、福祉、防災などの暮らしやすさという視点を含め、町全体をまるごとブランド化し、住民満足度の向上と町外における小国町の認知度の向上を図り、地域経済の発展を目指す「白い森まるごとブランド構想」。町では、この中核を担う「地域総合商社」の設立に向け、町内外の民間企業や有識者等で組織する「白い森みらい創生委員会」を今年5月に立ち上げ、設立に向けた検討を進めています。今月は、本町が目指す地域総合商社とともに、先月19日に公表した地域総合商社経営戦略責任者について紹介します。

小国が目指す地域総合商社

現在、全国各地で様々な地域商社や観光DMO（※）等の組織を立ち上げる動きがありますが、地域商社自体には決まった定義はなく、その形態は地域ごとに多種多様です。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部によれば、地域商社の機能・役割は、地域に眠る魅力ある商品やサービスについて、生産段階から流通・販売までを一貫して見据えたマーケティングを行い、市場



※DMO (Destination Management Organization)
地域の観光資源に精通し、地元と連携しながら観光名所を作り出す法人のこと

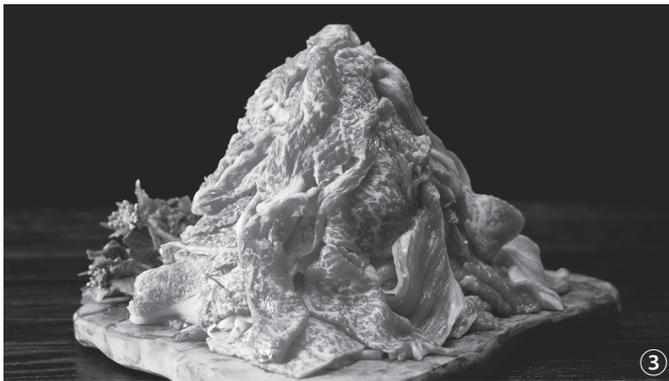
小さな町の大きなチャレンジ 「みんなで稼ぐ」 地域総合商社とは



①



②



③



④

▲小国町ふるさと納税返礼品の一例 (①羽前桜川美山錦②お米食べ比べセット③米沢牛切り落とし④山菜セット)

から従来以上の収益を引き出す組織とされています。

本町における「地域総合商社」とは、小国町の魅力ある地域資源を上手く活用して「みんなで稼ぐ」ための新しい仕組みです。

本町には、山菜やきのこ、米、牛肉、地鶏、地酒など魅力的な食材がたくさんあります。これらの食材は生産者のかたが自信を持って生産した大変優れたものですが、他の地域と比べて多くの量を生産することは難しく、気候などにも左右されます。また、中間地域ですので、都市部までの輸送コストも高くなりがちです。

観光に目を向けると、森林セラピー基地や観光わらび園、独特な温泉、スキー場といった素晴らしい観光地がありますが、残念ながら観光客は伸び悩んでいます。また、山の暮らしを体現するマタギ、ぶな文化のひとつつる細

工など、小国ならではの魅力的な地域資源もたくさんありますが、小国町自体の知名度が低く、他の地域のかたがた(市場)から地域資源が本来持っている魅力ほど評価されているとは言えません。

しかし、この小さな町で生産者や事業者が個々に頑張るには限界があり、やり方もわからないのが現状ではないでしょうか。

そこで、地域総合商社は、まだ眠る地域資源を掘り起こし、既にある地域資源を磨き上げ、町内の様々な生産者や事業者を巻き込みながら一緒に考え、行動していくことを目指すものです。

商社と聞くと、間に入って物を売るイメージかもしれませんが、小国町が目指す地域「総合」商社は、農産品などのモノだけでなく、観光などのサービスも含めて、あらゆる可能性を見出していくことを考えています。

今、なぜ地域総合商社なのか？

地域総合商社を設立する背景には、本町が置かれている状況が年々厳しさを増していることがあります。

大きな視点で見ると、日本は少子高齢化が進んでいきます。労働者の中核となる生産年齢人口（15～64歳）は減少し、それ以外の人口（14歳以下、65歳以上）の比率が高まっています。また、都市部への人口集中が止まず、地方が「消滅」という説もあるほどです。小国町もこの説においては、消滅可能性自治体として挙げられており、国立社会保障・人口問題研究所による最新の人口推計では、2045年に3220人まで減ると考えられています。

一方、「地方創生」の動きが加速化しており、今は地方の自治体間で競争する時代となりましたし、その範囲は日本国内のみならず、成長著し

いアジアといった海外も含まれるようになりました。

このように、今後の町の政策は人口減少を前提として考えていく必要があります。常に他の自治体と比較されることとなります。外の力を当てにすることは難しく、地域の中から自発的に活性化し、本町独自の形で成果を挙げていくことが必要になります。

本町経済を分析すると、産業別の「稼ぐ力」（生産性の高さ、付加価値の高さ）は、主要企業を中心とする製造業が全国平均よりも高く、それ以外の産業は競争力が低い状況です。また、小国町で生み出された富の多くは、本社への利益や個人消費などで町外に流出しています。観光等から入ってくるお金は、製造業と比較するとわずかしかなかったりありません。

このため、地域経済をけん

本町経済の構造的な課題

■生産面（付加価値額）：製造業に町の「稼ぐ力」が集中

産業別の「稼ぐ力」（労働生産性および付加価値額）を分析すると、製造業が主要産業として町経済をけん引。他方、建設業と公的部門を除き、それ以外の産業は大きな集積がない。

■分配面：財政移転により1人当たりの町民所得が全国平均より高い

雇用者所得は町外に流出し、企業の本社等への所得の流出がある一方、雇用者以外の所得（財産所得、企業所得、財政移転等）は大幅に流入しており、生産して稼いだ所得よりも町民の所得が大きい。

■支出面：観光等により所得が流入している一方、多くの町民所得が町外に流出

観光等により町外から消費・投資が流入している一方、個人消費や事業者の取引により町外に所得が大幅に流出しており、町全体の町民所得の3割が町外へ流出している。

本町が目指すべき方向性

方向性① 地域経済をけん引している製造業への継続的な支援を行っていく。

⇒労働力不足への対応や新潟山形南部連絡道路の早期実現等を着実に実施

方向性② 地域経済の多様性を確保すべく、製造業以外の産業を強化し、町内で所得を循環させるとともに、外から「稼ぐ」仕組みを構築していく。

⇒地域総合商社の設立

▲小国町の地域経済循環分析（第1回白い森みらい創生委員会資料より）



▲白い森みらい創生委員会を設置し、多様な立場から本町の地域資源を活かした取り組みについての検討を行っている

引している製造業への継続的な支援を行っていくことはもちろん、地域経済の多様性を確保するためには、製造業以

地域総合商社設立に向けて

町では、「地域総合商社を核とした白い森ブランド構築による地域再生計画」を策定し、平成30年3月30日に内閣総理大臣から認定を受けました。この計画に基づき、国か

外の産業の「稼ぐ力」を強化し、町内で所得を循環させる必要があります、その役割を地域総合商社が担っていきます。

ら地方創生交付金等の支援を受けながら、3年間をかけて地域総合商社の設立・運営を目指すことにしています。

1年目となる今年、地域総合商社の経営の核となる人材として経営戦略責任者

(以下「CSO」という)を選任し、CSOを中心

として本町の強みなどを調査・分析した上で、どのような形で稼ぐかの構想を練ってもらうことにしています。

地域総合商社が担う役割は大変複雑なため、CSOはビジネスに関する高度な知識と豊富な経験が求められます。このため、町では外部から人材

を公募し、地域総合商社の構想段階から関与してもらうこととしました。さらに実効性のあるものとするため、CSO自らにその構想を実現していただくということも重視しています。

2年目にはその結果に基づき小国ならではの地域総合商社を設立し、3年目には予算

地域総合商社

経営戦略責任者が内定

今年6月から募集、選考を行ってきた、地域総合商社の核となる地域総合商社経営戦略責任者(CSO)が決定しました。

CSOに就任するのは、新潟市在住の渡邊創一さん(紹介は6ページ)です。渡邊さんは、新潟エナジー株式会社代表取締役で、CSOへの就任を機に小国町に移り住んで活動される予定となっています。

的にも人的にも自立して運営ができるようになることを目指しています。

地域総合商社の構想は、いよいよこれからCSOが中心となって町民の皆さんとともに検討し、具体化していくこととなります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ます。これまで、企業の営業職や整体院、飲食店の経営、電力販売代理店の代表取締役など、さまざまな職種を経験され、特に新潟県内における人脈が豊富です。

当初の想定をはるかに超える396名の応募者の中から、書類選考、2回の面接を経て、これまでの実績や経験によって選ばれました。9月19日に行われた白い森みらい創生委

員会で紹介され、町長からは、「今回、多くの大変優秀な方に応募いただいた中から、1人を選考しなければならぬので、非常に苦労しました。渡邊さんはその中でも、面接の際にお聞きした地域総合商社のビジョンが論理的であったことや、経歴・能力のみならず、物腰も穏やかで小国のスタイルに合っていると感じることから、決定させていただきました。即戦力としてご活躍いただけることを大変期待しています。本事業は小国

のビッグプロジェクトであり、大きな期待がある一方、自分の事業がどうなるのかという不安の声も聞こえます。このため、渡邊さんには、ビジネスなので儲かることが大前提ではありませんが、ぜひ既存の事業者と競合するのではなく、一体となって儲けていく小国流の「稼ぐ仕組み」を見つけてほしいと期待しています。困難な事業ではありませんが、町を挙げて全面的にバックアップしていきます。」とメッセージが贈られました。

白い森まるごと塾を開催

同日には、白い森まるごと塾を開催し、株式会社日本政策投資銀行地域企画部次長の中村郁博氏から、「地方創生の要となる地域商社」と題して講演をいただきました。

講演では、そもそも地域商社とは何か、具体的にはどのような事例があるのかなどに

ついて分かりやすくお話いただきました。

当日は、白い森みらい創生委員会の委員をはじめ、町内の生産者や事業者、近隣市町の担当者など約70人が参加し、興味深く聞き入っていました（講演要旨は7ページに掲載）。

わたなべそういち

地域総合商社経営戦略責任者に就任する渡邊創一さん

この度、小国町地域総合商社CSOに就任致します渡邊創一です。今回のこの壮大なプロジェクトに携われることに心より感謝致します。

小国町を地域総合商社という一つの企業と考え、町民の皆様全てを巻き込み、次世代が育つ町づくり、笑顔が絶えない町づくりを行いたいと思っております。

特産品開発及び販売のしくみ作り、観光誘客促進、移住定住促進、施設再活性化を柱に、小国町をより魅力的にしていくために何が必要か、どんな課題を解決していくか、町民の皆さんと共に考え、小国町を活性化していきたいと強く思っております。

小国町の皆様の「勇気」と「挑戦」のパワーを最大限引出し、確固たる目的のために邁進する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

■趣味 スポーツ全般、特にマラソンなどの限界に挑戦する競技
 ■特技 整体、アニマルセラピー ■お気に入りの場所 バリ島
 ■家族構成 妻、猫1匹 ■小国で楽しみにしていること 自然の中を走りたい、絶景の写真を撮りたい。

小国町に単身赴任の予定です。皆さん、見かけたら気軽に声をかけてください。



白い森まるごと塾Vol.4

「地方創生の要となる地域商社」

(株)日本政策投資銀行

地域企画部次長 中村 郁博 氏



■地域商社が地方創生の要になり得ることは間違いない。小国町でも、ぜひ地域商社を検討し、将来を考えていただきたい。

■地域商社を考える上で重要な要素は、

ストーリー、ブランディング、地域コラボレーション

ストーリーとは、何が他地域と違うのかという差別化要素を明確にすることで、地域の誇りを形成することにつながる。ブランディングとは、地域の上得意様を大事にすることで、地域の愛着を作り上げることと言える。地域コラボレーションとは、地域住民みんなで盛り上げていく、地域のために行うプロジェクトだということ。

■地域商社の決まった定義はないが、端的に言えば、小国産の商品を販売し、マーケティングをし、お客様との間に関係を構築してご愛顧いただくこと。代表的なもの

は卸・小売や観光だ。さらに発展的なものとしては、地域バスの運営や水道管の修繕といった地域の課題をビジネスベースで解決するものもある。

■このような活動を行うに当たって大切なのが、**機動性、ビジネスマインド、真の公平性**（がんばった人が多くのリターンを得ること）の三つの要素。行政の考え方と根本的に異なるものであり、行政に求めることはそもそも無理。

■地域商社が必要な理由は、元々はロット不足で大手卸業者に取り扱ってもらえない、あるいは多額の仲介手数料により町内の富が流出するということがあったが、今はマーケティング情報を集めるための仕組みというのが圧倒的。マーケティングを行うためには、お客様の声が入ってくる仕組み作りと上得意様を作る関係作りが重要であって、このお客様の情報を管理する役割を担う組織を作ることが地域商社の一つの目的。

■地域商社の形態は、マーケットの範囲をどう定めるか（地域内、地域外、海外）、活動の形態をどうするか（小売・卸、メーカー、プロジェクトメイク）、活動の主体をどうするか（民間、第三セクター、行政）などにより多様。小国の地域商社の最適解は、米沢や山形とは違うため、それを町民の皆さんと一緒に探求していくことが重要。

■地域商社のビジネスモデルでは、マスマーケット追求型（大量、安価、安定）を目指すのではなく、**ニッチマーケット特化型**（少量、高価、その時々で一番のもの）をやっていくことが大切。そして、20年間の事業継続を目標に設計することが重要。

■地域活性化で注目されている地域は、20年継続して安定した事業を継続してきたところ。ビジネスを行うに当たっては販売量だけでなく**単価を上げる**努力をすべきであり、それを年数をかけて売っていく仕組みが重要。

■小国町の良さをご愛顧いただけるお客様をどうやって捕まえ、捕まえたら長く付き合っていくという**プロダクト・アウトの発想**が大切。このためにも、今小国町の良さを評価しているお客様と連絡を取っていく戦略が有効であり、顧客データを集め、小国ファンを囲っていく必要がある。顧客データベースを使って、小国の宣伝広告をする組織が地域商社である。

■地域商社を支えるためには、**地域でサポートすることが不可欠**。小国町の一番のファンでありお客様は小国町の町民。地域のかたも自分たちのプロジェクトとして支えていくことが必要。小国町の人がお歳暮を贈る際に、なぜ小国の商品を贈らないのかということ。

■20年間事業を継続するためには、きちんと回っていくシステムを作っていくことが大事。そのためには、行政だけが出資するのではなく、住民も出資するなどし、経営者と出資者との間に顔が見える関係を作ることが有効。次の世代にバトンを渡し、10年先、**20年先を背負っていく若者たち**に小国とはこういうところだと胸を張って言えるようにするために、地域商社に何が必要かを町民の皆さんでじっくり考えてみてほしい。

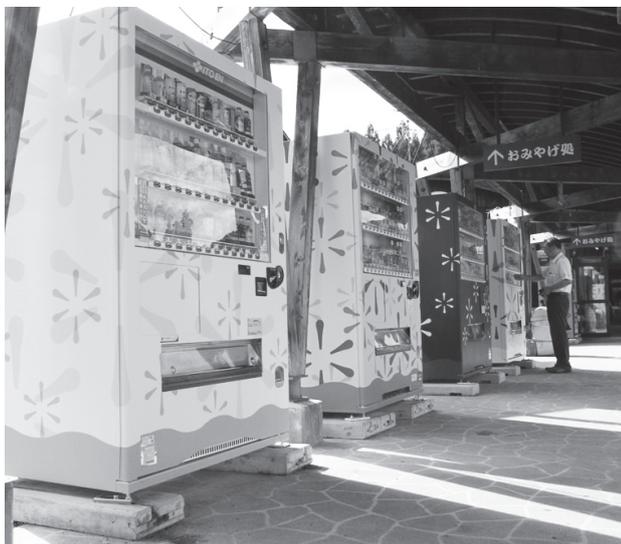


9月8日
スポーツ公園

4年ぶりの開催 ～白い森おぐに駅伝大会～

平成30年度白い森おぐに駅伝大会が、9月8日、スポーツ公園で開催され、14チーム約80人の選手が出場しました。これは、小国町陸上競技協会（永井博嘉会長）が第61回地区対抗駅伝競走大会を兼ねて4年ぶりに開催したものです。

選手たちは、あいにくの雨の中力強い走りを見せ、チームがひとつになってタスキをつなぎゴールを目指していました。会場に集まった観客からは、選手たちに大きな声援が送られていました。



9月上旬
道の駅白い森おぐに

ロゴマークや各キャラに衣替え ～道の駅自動販売機ラッピング～

白い森ロゴマークや小国高校公式ゆるキャラおぐまんなどがラッピングされた自動販売機7台が、道の駅白い森おぐにに設置されました。これは、(有)白い森よこね物産品直売所（加藤功代表取締役）が行ったもので、デザインは昨年度まで地域おこし協力隊として活動していた宮崎美穂さんが担当しました。

道の駅の竹内健太店長は「写真を撮っていくかたがたくさんいて、大変好評です。小国町の玄関口としてこれからも白い森おぐにをアピールしていきたいです。」と話してくださいました。

8月31日
小国中学校

素直な思いを発表 ～少年の主張小国地区大会～

第57回少年の主張小国地区大会が、8月31日、小国中学校体育館で開催され、小国中学校と叶水中学校の生徒4人が出場しました。

大会では、日々の生活の身近なところからテーマを設定し、地域との関わりなどを通して気づいたことや感じたことなどを堂々と発表していました。

審査の結果、小国中学校3年の保科紅華（くれは）さん（黒沢）が最優秀賞、同校3年の仁科悟（さとる）さん（尻無沢）が優秀賞、同校3年の須藤紗羅（さら）さん（岩井沢）と叶水中学校2年の松井はんなさん（叶水）が優良賞を受賞しました。



9月15日
町民体育館

長寿のお祝い ～第54回小国町高齢者顕彰式～

第54回小国町高齢者顕彰式が、9月15日、町民総合体育館で開催されました。この日は、米寿を迎えられたかた13人（対象96人）と、喜寿を迎えられたかた40人（対象96人）のかたがたが出席し、町長の式辞の後、町からの記念品が贈られました。

また、アトラクションでは、おぐに保育園の園児24人による歌と踊りが披露されたほか、園児から出席者一人ひとりに手作りの手ぬぐいを手渡しし、参加者から園児たちに大きな拍手が贈られました。



①



②



③

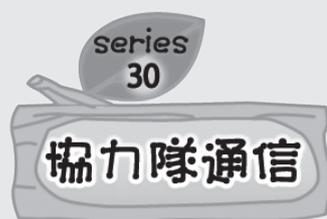
▶ ①感謝状贈呈②おぐに保育園園児から手作り手ぬぐいが贈呈③出席者代表のあいさつ

「夏とこれからと」

お久しぶりです。私が小国に来て約6カ月になります。今年の夏はどうでしたか？私は小国の夏が想像以上に暑くて疲れが溜まってしまいました。

さて、今年は全国各地で自然災害が発生し、故郷の和歌山県も台風21号で一部停電や物が倒れる等の被害が出たと連絡がありました。私の住む沖庭地区も8月16日の大雨で避難所が開設され、いつ避難すればいいのかわからない恐怖感を味わい、自然に対する考え方を改める機会になりました。

活動の多くは農作業が中心ですが、夏休み期間中は子どもたちと触れ合う時間もありません。全国各でも勉強になりました。



緑のふるさと協力隊
いわい たくま
岩井 拓磨



▲9月3日の川の楽校にも参加しました

の協力隊の同期には「子どもとの接し方がわからない」と苦手意識を持つ仲間もいましたが、私も同じです。子どもは好きですがわからないことだらけです。ですが、私が小学生の頃を思い出して、なんて言われると嬉しかったのか、どのように説明されると理解できたかを考えながら活動しています。

今後は放課後子ども教室「めっちゃ」にもお手伝いに行きますのでどうぞよろしくお願います！

技

を 緋なう

その⑥

人と道具の物語

雑節の一つ、二百十日（立春を起算日とし210日目、新暦の9月1日頃）は、台風や大風に見舞われることが多く、農家にとつて厄日の一つとされてきました。稲の花が咲き、やがて頭が垂れ始めるこの頃、里近くの二次林では樹木の実が成り、落ち始めます。かつては多くの集落で、この二百十日がクルミ（オニグルミ）の実をもぐ口開けとされてきました。トチやクリ（ヤマグリ）の実もまた、長期間保存がきく上、デンプン質が多く、米が今ほどとれなかった時代にはとくに重要な食資源として利用されてきました。



トチノキは谷筋に集中して分布することが多いため実が集めやすく、粒も大きいという長所があります。しかし、皮さえむけば食べられるクリと違い、タ

ニンやサポニン、アロインといった渋み成分を含み、アク抜きの作業が不可欠です。とくに有毒のサポニンは、木灰などでアルカリ変成させることが一般的であり、虫出しから最短でも半月近くに及ぶ工程が要されま

す。それらの作業に手間暇がかかるため、食料事情が良くなるに連れ、いつしかトチの実利用が衰退していったようです。そのようななか、その技術を受け継ぐと、トチ餅作りを始めたのが中野の婦人会のかたがたで、平成元年のことです。「中野にはトチダイラっていうところもあるくらい、トチノキはいっぱいある。でも、トチの実をひろってる人なんて、あの頃はもういなくて。だいたい私が来た頃の年寄り衆なんて（アク抜きを）自分でしたことがなかったんでねえ。上の人からある程度話を聞いてたくらいで。」そう話すのは、中心メンバーの1人、齋藤以智子さん（昭和10年生まれ）です。昭和31（1956）年、富山県（生まれは石川県）から夫の実家がある中野へ、幼子2人を背負いやって来たそうです。

「婦人学級に近所で歳いった人いたから、その人からアク抜きの方法教わった。それで実際にやってみたら、こんないいものは親戚や知り合いにも出そうっていう話になって。最初2年はうちの小屋で餅ついて。そのあと工場建てた。そのうち、ただのトチ餅でなく、小豆を中に入れてみたり、小豆とかナメコの缶詰も一緒に出したりするようになったんよ。そしたら今度は、それだけじゃ寂しいから山菜の漬物も一緒に入れたらどうだべって。一箱、セットでいくらつて決めて、地元の人たちが自分たちの親戚に送った。一番よかったときは正月前に800何十箱出した。」

その頃は女子（おなご）衆3人できてただけど、トチの実からワラビから、ミズ、フキ。材料も皆自分たちで採ってき



▲齋藤 以智子氏



トチの実のアク抜き (齋藤以智子さんの方法)

虫出しと乾燥

拾った実を水に漬ける (1週間~10日間)
 ↓
 振るとカラカラと鳴るぐらいまで干す (5日間程度)
 ↓
 <完全に乾燥させたら使うときまで保存しておく>



▲虫出し中のトチの実

アク抜き

一晩水に漬けて吸水させてから皮が柔らかくなるまで煮る
 ↓
 杵と臼で粉々になるまで潰す (写真①)
 ↓
 ザルでこして皮を取り除く (写真②)
 ↓
 手ぬぐいなどで水をこす (写真③・④)
 ↓
 こした後の粉をアク汁 (※) に入れ煮立て、十分に冷ます (写真⑤)
 ↓
 底に溜まった粉をできるだけ流さないように上澄み液だけ捨て、水を入れ替える
 (毎日3、4回水を入れ替え、それを4~5日間繰り返す)
 ↓
 アクが抜けたら目の細かいフルイ (絹ブレイ) で皮の滓 (かす) やゴミを取り除く。
 その後、再び手ぬぐいなどで水をこし、粉を広げて乾燥させる
 (餅に入れるときは粉をふかしてから使う)

※アク汁

沸騰したお湯に木灰を入れ、一晩ほど静置しておく、灰が底に沈む。そのときの上澄み液が「アク汁」である。トチの実のアク抜きにはナラの木の灰が一番良く、逆にスギやクルミの灰は全く向かないという。

くて。若かったから苦にしなかつたんだね。結局20年ぐらい続けたかな。」

齋藤さんが教わったアク抜きの方法で特徴的なのは、虫出した実の皮を一粒一粒むくのではなく、杵と臼でまとめて潰して取り除くという点です。全国的にみて、トチ餅を作るときは、実をつぶさず皮をむき、粒のままアク抜きをして、餅にそれを混ぜてつくというのが一般的です。それに対し、つぶしてからアク抜きする技術が伝えられていた地域もありますが、最終的にできた粉は、餅に混ぜるというよりも、練って団子にしたり、汁やお湯をかけたりにして食べられることが多かったようです。また、その技術は、粒のままアク抜きする技術よりも古いものとされています (※)。

それでは、なぜ「先祖返り」とも言える方法が中野で用いられるようになったのでしょうか。じつは、当時、近くの五味沢に粒のままアク抜きをする人がいて、その人から教えてもらい齋藤さんも何回かその方法も

試してみたそうです。しかし、粒の中心まで完全にアクを抜くことができず、また、一粒一粒、皮をむくのに大変手間がかかったと言います。

粉にしてからアク抜きする場合、皮の除去や水さらしなどの工程で、粉が水とともに流れ、どうしても目減りしてしまいます。その代わりに、大量の実の皮を手早く分離することができるのと、粒子となりアク汁とよく混ざるため、確実にアクを抜くことができるという利点があるのです。つまり、この技術は、トチの実が貴重で一粒一粒を大事に利用していた時代にはみられなかった現代形と言えるのかも知れません。しかし、それは取りも直さず、社会が変わっていくなかであっても背伸びすることなく、より良く、山の恵みを生かし、「豊かな」暮らしを実現させようとする、人びとの知恵の賜物でもあったのです。

※辻稜三、1989年、「飛騨高知周辺におけるトチノミ食の地域的特性について」

小国町議会 9月定例会

平成30年第6回小国町議会議定例会が9月5日から14日まで開催されました。平成30年度一般会計補正予算のほか、平成29年度歳入歳出決算などが審議され、原案のとおり可決・認定されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

3億6752万円を追加

一般会計では、商標「白い森」の農産物分類等の取得に要する経費や道の駅機能拡充に向けた用地の取得費、強風被害により屋根が著しく損壊している温水プール施設の解体に係る工事費、除雪対策基金への積み増しなどを行うこととし、3億6752万円を追加し、補正後の同会計予算総額は、61億8558万3千円となりました。

■飯豊温泉源泉付近の法面が一部崩落しており、引湯管

を保護するために必要な経費を追加したほか、飯豊梅花皮荘の水管橋を支えるワイヤーアンカーが経年劣化により腐食しているため、この修繕に要する経費を措置しました。

■道の駅の機能拡充については、直売所整備の用地や駐車場スペースの拡大を見込み関係地権者との用地交渉を進めてきましたが、この度、協議が整ったため、用地購入および立木補償に要する経費を措置しました。

■小国小学校チツプボイラー施設の安全機能向上のため、緊急停止装置等の整備をすることとし、これに要する経費を措置しました。

■町内小中学校および町民総合体育館、多目的屋内運動場に設置している自動体外式除細動器(AED)を更新することとし、これに要する経費を措置しました。

町道松岡黒沢峠線黒沢橋旧橋解体工事請負契約を締結
国の社会資本整備総合交付

金事業を導入して進めている町道松岡黒沢峠線の改良工事において、一級河川に架かる黒沢橋を架け替えました。これに伴い旧橋の解体工事について、9月3日に町内4業者による指名競争入札を行った結果、山和建設株式会社を落札決定し、7236万円で工事請負契約を締結しました。なお、工期は平成31年3月8日までとしています。

町教育委員会教育長および委員を任命

■町教育委員会教育長の任期満了に伴う人事案件が提案され、遠藤啓司氏(大宮)が再任されました。任期は平成30年10月15日から平成33年10月14日までとなります。

■町教育委員会委員の任期満了に伴う人事案件が提案され、新たに伊藤優子氏(北)が任命されました。任期は平成30年10月1日から平成34年9月30日までとなります。

平成30年度地価調査結果

平成30年度地価調査結果が公表されました。小国町に関するものは、右表のとおりです。

地価調査とは、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安等としていただくものです。

■問合せ先

山形県県土整備部県土利用政策課
(☎023-630-2430)へ

所在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目6番11	8,960 (円/㎡)	9,100 (円/㎡)	-1.5%
緑町三丁目9番1	16,100 (円/㎡)	16,400 (円/㎡)	-1.8%
兵庫館三丁目5番20	7,220 (円/㎡)	7,300 (円/㎡)	-1.1%

町有財産（土地）を一般競争入札により売却します

■売却物件

物件	所在地	地積	地目
土地	あけぼの三丁目5番4	3,429.10㎡	宅地

■予定価格（最低入札価格） 26,170,000円

■入札日 11月16日(金)13:30~

■入札場所 小国町役場3階庁議室

■入札参加申込 事前申込が必要です。

○申込期間 10月1日(月)~26日(金) (平日のみ) ○受付時間 8:30~17:15

○申込方法 町有財産一般競争入札参加申請書（添付書類含む）を直接提出してください（郵送不可）。

■入札参加申込資格 入札は、個人または法人でも参加できますが、一部対象外になる場合があります。

■保証金 入札保証金：入札見積価格の100分の5以上の額 契約保証金：契約額の100分の10以上の額

■売却条件 ①用途制限（ア. 契約締結の日から5年以内に建物を建築すること。イ. 井戸の掘削は、行わないこと。）
②転売の禁止（契約締結後10年間は、本物件を第三者に転売または貸し付けることができないこと。（やむを得ない事由がある場合は、書面による事前承認が必要なこと。））

■土地売買代金の納入方法 町の納入通知書により小国町役場または町内の金融機関で納入してください。

■現地説明会 10月16日(火)10:00~（10月15日(月)まで電話での事前申込が必要です。）

■その他 詳しくは町ホームページまたは役場窓口で配布する説明資料をご覧ください。

■申込・問合せ先 総務企画課管財危機管理担当（☎62-2112）へ

今年度の検診はお済ですか？

今年度、検診をまだ受診していないかたは、ぜひ下記の日程で受診してください。なお、11月26日は対象地区の日程で受診できなかったかたの予備日となっています。

【総合検診】希望するかたは、健康福祉課までご連絡ください。

○期日 10月2日(火)・4日(木)・9日(火)、11月26日(月)（予備日）

○場所 健康管理センター

【レディース健診】希望する検診場所ごとに予約をしてください。

《南陽検診センター》

○日 程 10月25日(木)、11月8日(木)・19日(月)

○申込先 健康福祉課（☎61-1000）へ

《町立病院》

○乳がん検診 2月末までの毎週月曜日

○子宮頸がん検診 2月末までの毎週金曜日

○申込先 町立病院（☎61-1111）へ

■各種検診の問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

小児インフルエンザ

予防接種費用助成

町では、インフルエンザの発病や重症化及びまん延の予防を目的に、小児インフルエンザの予防接種にかかる費用の一部を助成します。

■対象者 小国町に住所を有し、接種日において生後6カ月~中学校3年生までのかた

■接種（助成）期間

10月1日(月)~平成30年1月31日(休)

■助成額 1回につき2,000円

■助成回数 6カ月~13歳未満…2回
13歳以上…1回

■その他 対象者には個別に通知しますので、詳細は通知をご覧ください。

■問合せ先 健康福祉課地域保健担当
（☎61-1000）へ

入札結果情報（平成30年8月21日~平成30年9月20日実施）

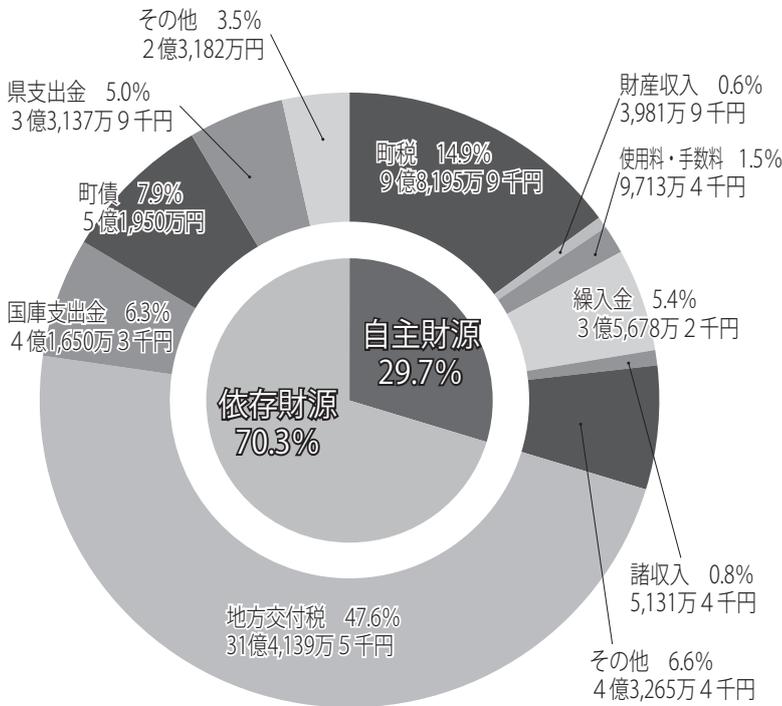
単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H30.8.30	平成29年度繰越明許費小国3地区農地耕作条件改善事業市野沢取水堰整備工事	市野沢	H30.10.25	3,690,000	玉川開発(株)	3,500,000
H30.8.30	平成29年度繰越明許費小国3地区農地耕作条件改善事業松岡排水路管理道路整備工事	岩井沢	H30.10.25	6,113,000	遠藤建設(株)	5,700,000
H30.9.3	平成30年度社会資本整備総合交付金事業町道松岡黒沢峠線黒沢橋旧橋解体工事	黒沢	H31.3.8	68,372,000	山和建設(株)	67,000,000
H30.9.12	平成30年度小国町水道事業針生配水池場内舗装工事	小渡	H30.11.16	4,948,000	大和建設運輸(株)	4,800,000
H30.9.14	平成30年度小国町水道事業針生配水池取付道路法面保護工事	小渡	H30.12.7	22,017,000	玉川開発(株)	21,000,000
H30.9.14	平成30年度小国町公共下水道事業小国浄化センター水処理機械設備更新工事	増岡	H31.2.28	9,492,000	水King(株)東北支店	9,200,000
H30.9.14	平成30年度小国町公共下水道事業中継ポンプ施設電気計装設備更新工事	小国町地内外	H31.3.8	18,426,000	東芝プラントシステム(株)東北支社	14,800,000

*入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

平成29年度決算報告

一般会計歳入 66億25万9千円
(前年度比-1.7%)



平成29年度一般会計と企業会計、特別会計の決算が9月14日、小国町議会9月定例会で認定されました。一般会計歳入総額は66億25万9千円、同会計歳出は62億4,494万2千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は3億5,530万6千円の黒字となりました。各会計の決算状況をお知らせします。

入ってきたお金

町民税では、製造業を中心とした給与と所得の回復により個人町民税が増加したほか、水力発電所建設関連の事業所立地や建設業における堅調な業績により法人町民税も増加し、対前年度比6.8%の増となりました。

地方交付税は、小学校改築事業等の公債費に係る財政需要が増加したことなどから、対前年度比2.5%増となりました。

国庫支出金は、豪雪に係る臨時除雪事業費補助金や電源立地地域対策交付金などが増加しましたが、道路整備に要する社会資本整備総合交付金、臨時福祉給付金などの減少により、対前年比1.5%減の4億1,650万3千円となりました。

町債は、防災情報伝達システム整備が完了したことなどにより、対前年度比39.8%減の5億1,950万円となりました。

歳入総額は、対前年度比1.7%減の66億25万9千円となりました。

特別会計・企業会計 の決算状況

■簡易水道事業特別会計

収入 6,371万3千円
支出 2,121万2千円

■国民健康保険事業特別会計

収入 9億9,378万4千円
支出 9億2,943万6千円

■部落有財産特別会計

収入 1億1,347万5千円
支出 298万円

■下水道事業特別会計

収入 3億6,242万円
支出 3億5,506万8千円

■訪問看護特別会計

収入 9,277万7千円
支出 9,050万5千円

■介護保険特別会計

収入 10億632万2千円
支出 9億8,941万5千円

■後期高齢者医療特別会計

収入 1億1,305万5千円
支出 1億525万7千円

■病院事業会計

事業収益 10億7,379万1千円
事業費用 12億781万6千円

■老人保健施設事業会計

事業収益 3億5,312万1千円
事業費用 3億7,237万9千円

■水道事業会計

事業収益 7億8,337万円
事業費用 7億7,433万7千円

■工業用水道事業会計

事業収益 1億565万9千円
事業費用 1億4,123万8千円

使ったお金

義務的経費は、人件費や公債費が増額となったため、対前年度比10.3%の増となりました。人件費は給与改定に伴う職員給与や期末・勤勉手当の増などにより、対前年度比4.4%、3,689万3千円の増額となりました。公債費では、平成25年度過疎対策事業債（小国小学校改築事業など）の元金償還が開始となったことなどから、対前年比26.6%、1億7,800万1千円の増額となりました。

投資的経費は、対前年度比58.6%、5億2,968万3千円の減額となりました。普通建設事業では、町道松岡黒沢峠線道路整備事業、町道橋補修事業などを継続して実施したほか、農業基盤整備促進事業、病後児保育施設整備事業、道の駅機能拡充事業などを実施しました。

また、各基金については、利子積み立てを図るとともに、ふるさと納税制度による寄附金を原資として新たに白い森ふるさと応援基金を設置したほか、減債基金等の原資積み立てを行いました。

歳出総額は、対前年度比1.5%減の62億4,494万2千円となりました。

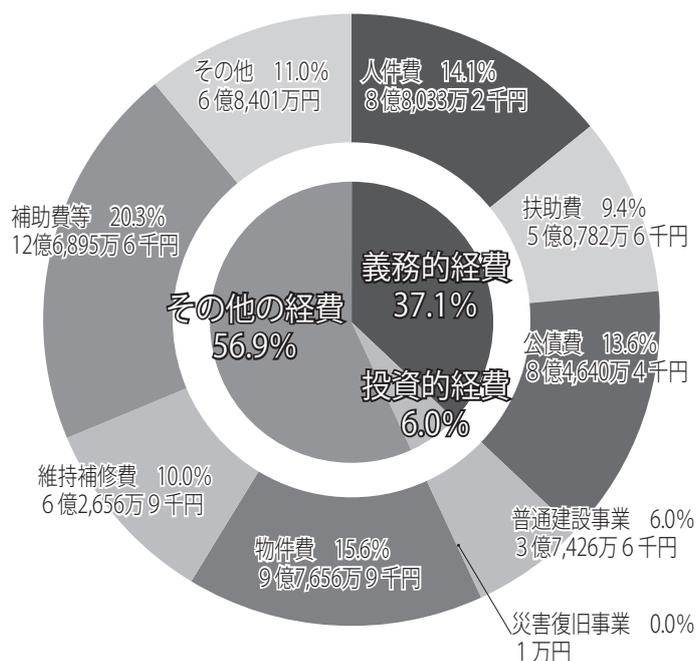
■資金不足比率の状況

公営企業の経営健全化を示す指標で、資金の不足額を営業収益で除した値となります。本町では、病院事業、水道事業、工業用水道事業、老人保健施設事業、簡易水道事業、下水道事業の6会計が対象になります。平成29年度決算の結果、資金の不足額が発生する会計はありませんでした。

主な基金の積立状況

減債基金や白い森ふるさと応援基金等に原資積立を行いました。豪雪に伴う除雪経費の増大等に対応するため、財政調整基金や除雪基金の取崩を行ったことなどから、平成29年度末の残高は16億870万6千円となり、前年度から2億4,388万7千円減少しました。

一般会計歳出 62億4,494万2千円
(前年度比-1.5%)



■健全化判断比率の状況

平成29年度一般会計決算に基づく財政の健全化判断基準は、下表のとおりです。比率が早期健全化基準、財政再生基準を超えると、それぞれの財政健全化計画、財政再生計画の策定が義務づけられています。表中のいずれの指標においても、財政悪化の判断基準に達していません。

指標	比率 (単位%)	
実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	—
	早期健全化基準	15.00
	財政再生基準	20.00
連結実質赤字比率 町の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	—
	早期健全化基準	20.00
	財政再生基準	30.00
実質公債費率 町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	9.4
	早期健全化基準	25.0
	財政再生基準	35.0
将来負担率 町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表したもの	小国町	91.2
	早期健全化基準	350.0
	財政再生基準	—

名称	基金の残高	対前年度増減額
財政調整基金	9億1,045万5千円	▲9,987万8千円
減債基金	6,779万8千円	+590万7千円
その他特定目的基金	6億3,045万3千円	▲1億4,991万6千円
合計	16億870万6千円	▲2億4,388万7千円

募集

町営住宅入居者募集

- ① 町営住宅小坂町団地
3DK 2戸(3・4階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ② 町営住宅あけぼの団地
3DK 2戸(2・3階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ③ 町営住宅あけぼの高齢者団地
1LDK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- 対象
- ▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること
- ④ 小坂町勤労者住宅
2DK 1戸(3階)
- 家賃 38000円
- 対象 町内事業所にお勤めのかた
- ①②④共通
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 10月10日(水)

- ◎入居時期 10月下旬以降
- ◎問合せ先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

県営住宅入居者募集

- 募集住宅 3DK 9戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 10月9日(火)～15日(月)
- 入居時期 12月上旬
- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市) 総合案内窓口
- 問合せ先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238・24・2332)へ

西置賜行政組合 消防職員採用試験

- 採用人数 若干名(男女不問)
- 受験資格 平成6年4月2日以降に生まれたかた
- ※身体および居住要件あり
- 試験日および会場
平成30年11月11日(日)
交流センターふらり(長井市勤労青少年ホーム)
- 試験内容
《第1次試験》教養試験(高卒程度)・適性検査(筆記)・体力試験
- 《第2次試験》作文試験・人物試験(集団および個別面接)
- 受験申込書の交付場所
西置賜行政組合事務局、消防本部・消防署、消防署各分署
- 受付期間
10月5日(金)～10月29日(月)
※郵送の場合10月29日(月)必着
- 申込・問合せ
西置賜行政組合事務局(☎88・4336)へ

白い森おぐにスイセンプロジェクト 参加者・協力者募集

- 日時 10月21日(日)10時～
- 場所 横根スキー場
- 持ち物 軍手、長靴、移植ベラ、スイセンの球根(可能なかた)
- その他 球根を提供してくださるかたも募集しています。イベント終了後には芋煮の振る舞いがあります。
- 申込期限 10月10日(水)
- 申込・問合せ
白い森おぐにスイセンプロジェクト(産業振興課内)
☎62・2416)へ

ご案内

小国教会チャペルコンサート

- 日時 10月21日(日)13時30分開場・14時開演
- 場所 小国教会礼拝堂(白百合保育園となり)
- 入場料 無料
- 内容 ハープ演奏によるコンサート
- 問合せ先 小国教会牧師 山本(☎090・9745・5381)へ

第26回大里峠越え交流会

- 日時 10月14日(日) 8時～15時30分頃
- 集合 小国町役場東側駐車場
- 内容 関川村側から小国町側へ大里峠越え、大里鍋を囲んでの交流会ほか
- 持ち物 昼食、飲み物、山頂に奉納する折鶴
- 申込・問合せ
地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

10月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 10月26日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成30年6月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 10月26日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年10月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 10月12日(金)
- ・受付時間 12:30~13:15
- ・対 象 平成27年2月、3月、4月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■10月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
	10月16日(火)、10月26日(金)午後はお休みです。		
子育て講話・芋煮会	10月16日(火)	9:30~ 健康管理センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

10月7日(日)	米沢	中川デンタルクリニック	0238-37-3311
10月8日(月)	南陽	村越歯科医院	0238-40-3295
10月14日(日)	小国	加藤歯科医院	0238-62-2678
10月21日(日)	米沢	プリリー歯科クリニック	0238-22-4182
10月28日(日)	高島	顎口腔クリニック根岸山	0238-40-8248

求 人 情 報

右の表は9月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
大河内産業(株)	一般事務員	1人	8:00~17:00
	砂利プラント運転士	1人	
	ダンプ・重機運転士	1人	
(株)コメリ	販売・店舗運営職 (リージョナル社員)	2人	8:45~17:45他
特定非営利活動法人 おぐにスポーツクラブYui	(臨) スポーツ指導 および業務スタッフ	1人	8:30~17:15他
大和建设運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
山和建设(株)	事務員	1人	8:00~17:00
医療法人社団 緑愛会 満天の家	看護師	1人	8:30~17:30
水源の郷交流館ほたる	厨房補助	1人	10:00~14:00
小国食糧(株)(栄町市場)	販売員	1人	8:30~18:30の間の5時間程度
美森ファーム(株)	販売員	1人	8:00~16:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2018.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●10月26日(金) 水道料

●10月31日(水)

町県民税、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

10月の あいイベント 第10回MIXCUPフットサル大会



- 日 時 10月21日(日)9:00～
- 対象者 中学生以上6人制（女性3人以上）
チーム編成15人まで
- 持ち物 室内シューズ、飲み物など
- 参加費 500円/人（保険料込）
- 申込期限 10月12日(金)

福島安達太良山トレッキング

- 日 時 10月14日(日)～15日(月)
- 集合 町民総合体育館
- 内容 14日(日)13:00出発 岳温泉宿泊
15日(月)ゴンドラに乗り、安達太良山へ
- 申込期限 10月6日(土)

- 申込・問合せ先
(☎62-5808)



マタギの里小玉川 トレッキングツアー

- 日 時 10月27日(土)9:00～16:00
- 場 所 樽口峠ブナの森トレッキングコース
および温身平森林セラピーロード
- 集 合 9:00小玉川公民館
(林道樽口峠線登り口手前)
- 定 員 先着30人
- 参加費 2,000円（保険料・副食費等込）
- 服装等 軽登山をするのに必要な服装、靴で参加
してください。昼食・飲み物を持参してください。
- 申込締切 10月23日(火)まで
- 申込・問合せ先 小玉川地区自整協事務局（南部地区
振興事務所内）（☎64-2008）へ

相 談

▽消費者相談

- 日 時 10月27日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 司法書士 舟山健蔵 氏
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

とうほく街道会議第14回交流会山形大会

イザベラ・バード来日140年
～アルカディア街道から

南へ・北へ地域を繋ぐ～

- 日 時 11月9日(金)～10日(土)
- 場 所 山形テルサほか
- 内 容 1日目 フォーラム・街道談義
2日目 アルカディア街道探訪会
- 対 象 どなたでも
- 参加費 フォーラムのみ無料（街道談
義4,000円、探訪会1,500円～）
- 申込・問合せ先 とうほく街道会議山形大会実
行委員会事務局（☎090-2275-7534）へ

第16回おぐに鍋まつり

個性豊かな創作鍋が出品されます。ぜひ
食べ比べてお楽しみください。

- 日 時 11月4日(日)11:00鍋販売開始
- 場 所 アスモ西口駐車場
- 前売券 10月1日から、まちの駅アスモで1
枚500円で販売（先着100枚）
- その他 当日は「おぐに再発見！自然の恵み
大感謝祭」同時開催されます
- 問合せ先 おぐに鍋まつり実行委員会
(小国町商工会内)（☎62-4146）へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

- ◇さざなみよる
- ◇未来
- ◇あやかし草紙
- ◇朽ちないサクラ
- ◇長く高い壁

休館日 毎週月曜日・祝日

- 木 皿 泉
- 湊 かなえ
- 宮 部 みゆき
- 柚 月 裕子
- 浅 田 次郎

第11回小国町町民ゴルフ大会 小国町長杯

- 期 日 10月7日(日)
- 場 所 日本海カントリークラブ
- 募集人数 60人
- 問 合 先 大会実行委員会（山形新
聞小国販売所）（☎62-2420）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・管財危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(8 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

北	舟	山	さ	な	(大康)	地名	
宮	の	台	與	島	ふみと都	(克聡)	義恵
宮	の	台	與	島	ゆいと都	(克聡)	義恵
幸	町	木	村	うた詩	(垂)	忍	矢洋
舟	渡	塚	原	やまと大和	(宏)	宏	梢

結婚おめでとうございます。

(大	宮	勝	見	終
	天	市	阿	部	彩
	増	岡	五	島	友
	新	湊	小	川	千
	岩	井	沢	岩	倉
	東	原	笹	原	大
					介
					牧

おくやみ申し上げます。

小	国	町	三	島	木	四	郎	(95)
東	原	川	上	光	春	雄	(70)	
あ	け	ぼ	の	大	谷	雪	(86)	
石	野	滝	齋	藤	四	郎	(84)	
市	野	沢	島	貫	克	之	(54)	
東	原	金	子	洋	子	(76)		
大	宮	遠	藤	胤	睦	(85)		
岩	井	沢	新	野	合	子	(86)	
兵	庫	館	大	場	す	み	子	(89)
町	原	松	本	春	子	(95)		

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成30年8月31日現在)

人口	男	3,794	人	(+ 2)
	女	3,832	人	(- 3)
	計	7,626	人	(- 1)
世帯数		3,083	世帯	(+ 3)

編集後記

町内各所で稲刈りが始まり、山々が少しずつ秋色づき、寒さに季節の移り変わりを感じています。さて、小国の秋は、イベント目白押しです。皆さんも町内各所で行われるイベントに参加して、小国でしか味わえないモノ・コト・味を堪能してみたいかがでしようか。

(斎藤)

仕事 vol.6 図鑑

ひさご電材株式会社小国工場

代表者 代表取締役 大家 隆
 従業員数 28人
 所在地 小国町大字松岡字入戸2
 事業概要 電線製造およびアッセンブリー加工

ひさご電材(株)小国工場は今年で操業30周年を迎えます。小国工場では主にマイクコードやスピーカーケーブルなどのオーディオ製品や、ETCやナビなどの車載機器をつなぐ電源ハーネス、医療機器用ケーブルなどの製品を製造しています。また、脱着式のイヤホンやヘッドホンなどのオーディオアクセサリブランド「onso (音素)」を展開しています。

同工場に勤める渡部育美さん(大滝)は、「製品の出荷検査業務を担当していますが、小国工場から不良品を世の中に出すわけにいかないため、大変気を使います。やはり、不良品が一切ない状態で納品できた時には、とても嬉しいですね。」と話してくださいました。また、製品の加工・組立を担当する江口淳平さん(兵庫館)は、「作る製品によって違いますが、1時間に約100個の製品をドライバーや各種工具を使って組み立てています。少し手間のかかる製品を作るときにはとても気を使いますが、作った製品が良品として検査を通ると達成感があります。」と話してくださいました。さらに2人は「普段見ている製品がどのように使われているかはあまり意識しないですが、実際には車の中やマイクコードなどとても身近で重要な役割に使われているので嬉しい気持ち半分と、複雑な気持ちが半分です。」と話してくださいました。

ひさご電材(株)では、電線を一からつくりあげることができるため、幅広い顧客ニーズに対応した製品製造が可能になっています。また、フッ素樹脂絶縁体などを使用した電線製造など、新分野の製品へも積極的にチャレンジしながらものづくりを展開しています。



▲製品検査をする渡部さん(左)と江口さん(右)

無言の語り部たちⅡ

その⑥

「道陸神（道祖神）」（玉川新田）

飯豊連峰に源を発する玉川の深い谷間に沿って走る県道長者原下新田線。その起点になる下新田集落の外れ、道路脇に「道陸神」という碑があります。町内にはこの他にも数カ所点在していますが、普



段何気なく車で通っていて気付かないこともあるのではないのでしょうか。

道陸神は別名道祖神、道の神、塞の神、歳之神などと呼ばれ、一般的には道路の悪霊を防いで行人を守護する神とされています。

この下新田にある碑について『小国の信仰』では、「昔、足野水への通行は、誠に不便であった。まず、下新田から玉川ベリの急崖を下って浅瀬を渡り、さらに対岸の崖を登らねばならないし、増水の際は子どもはもちろん大人も難儀な通路であった。この道祖神はこのような難所を見守っておられる。もともとこの神は旅人の安全を守り、道路の悪魔を除く神とされており、村の境や橋のたもとなどに祭られ、また、境を守る神すな



▲玉川地区にある道陸神

わち塞の神とも言われている。」と解説されています。

下新田の伊藤庄九郎さんは、「今は誰もしないけど、昔は、道陸神様は足の神様だからお参りしろって言われ

て、自分たちでワラジを編んでそこに持って行ってお参りしていたものだ。たくさんワラジが上がっててな。日にちは忘れてしまったけど、毎月何日って決まったお参りする日があったんだな。あそこら

には、耳鳴り様と湯殿山もあって、3つの神様が集まったとこだな。耳が悪かった人

は、お汁飲んでたお椀が古くなる真ん中に穴開けて糸を通してそれを持って行って耳鳴り様にお参りしていたな。」と話してくださいました。

また、地元のかたがたによると、この道陸神は、道路改良の際に山側に移動され、現在の碑はその後、新しく建て直したものだという。

歩くことや牛馬が唯一の交通手段だった昔の人々は、行路の難所や村境に道祖神の碑を建て、行路安全や村外からの悪病等の侵入を防ぐようまつてきたのです。